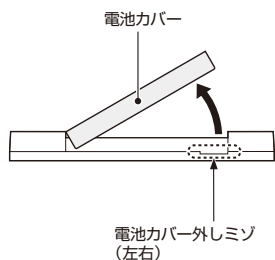


窓センサー送信器(施解錠検知機能付)

AiSEG3への登録・取付方法

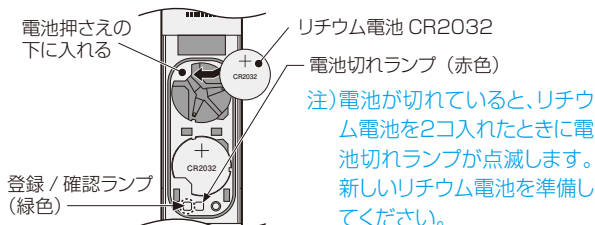
1. 電池を入れる

1 電池カバーを外す。



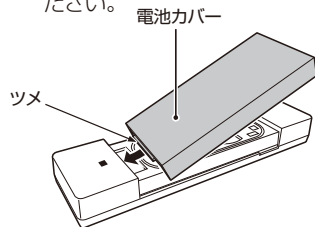
2 リチウム電池(2コ)を入れる。

- AiSEG3に未登録の場合、リチウム電池を1コ入れると、登録/確認ランプが約3秒間点滅します。
- AiSEG3に登録済みの場合は、リチウム電池を1コ入れると、登録/確認ランプが約3秒間点灯します。
- 極性を間違えないように入れてください。



3 ツメを差し込んで、電池カバーを取り付ける。

- AiSEG3に登録する場合は、電池カバーを外したままにしてください。



注) 電池交換の場合は電池カバーを閉め、電池カバーが確実に閉じていることを確認してください。
不十分な場合は中に水が入り故障の原因となります。

2. AiSEG3に登録する

- 窓センサー送信器はAiSEG3に登録しないと動作しません。
- AiSEG3の操作については、AiSEG3に付属の設定マニュアルを参照してください。

1 AiSEG3を登録待機状態にする(特小無線機器登録)。

注) AiSEG3の登録待機状態は約5分間です。5分以上経過すると、自動的に登録待機状態を終了します。

- 特小無線機器登録方法は、設定マニュアルを参照してください。

2 先の細い物で登録/確認ボタンを長押し(約3秒間)して、登録操作を行う。

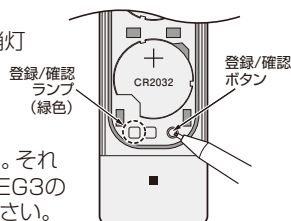
登録完了したとき

登録/確認ランプ: 点滅→約10秒後に点灯(約3秒間)→消灯

登録失敗したとき

登録/確認ランプ: 点滅→消灯

- ➔ 再度、手順2を行ってください。それでも登録できない場合は、AiSEG3の設定マニュアルを参照してください。



3 AiSEG3の登録待機状態を終了する。

注) 窓センサー送信器を登録すると、AiSEG3の画面では「窓鍵センサ」と表示されます。

3. 動作を確認する

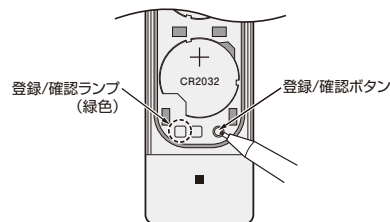
- 窓センサー送信器を取り付ける前に、AiSEG3との電波到達確認とマグネットの検知動作確認を行ってください。

1 使用する場所で本体とマグネットを並べて置く。

2 先の細い物で登録/確認ボタンを押す。

- ➔ 連続受信モードへ移行して、登録/確認ランプが動作状態を示します。

注) 連続受信モードは約3分間です。3分以上経過すると、自動的に連続受信モードを終了します。



AiSEG3と正常に通信している場合

登録/確認ランプ: 約1秒間点灯→約1秒間消灯
→マグネットの検知状態を点灯・点滅で表示
(参照: 手順3)

電波が届かない場合

登録/確認ランプ: マグネットの検知状態を点灯・点滅で表示
(参照: 手順3)

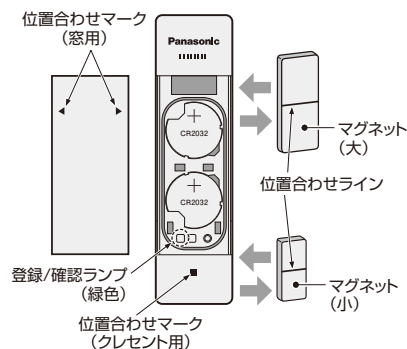
- ➔ AiSEG3または窓センサー送信器の使用場所を変更して、再度確認してください。

3 マグネットを遠ざけたり近づけたりする。

- ➔ 登録/確認ランプが以下のように表示すれば、正常です。その位置で使用できます。

マグネットを遠ざけたとき	点灯
マグネット(大)、マグネット(小)のどちらかを近づけたとき	遅い点滅
マグネット(大)、マグネット(小)を両方近づけたとき	早い点滅

注) 位置合わせマークと位置合わせラインを確実に合わせてください。
マグネット(大)の場合は、位置合わせラインと本体に電池カバーを取り付けたときの位置合わせマークを合わせてください。



4 先の細い物で登録/確認ボタンを押す。

- ➔ 登録/確認ランプが消灯し、連続受信モードを終了します。

使用場所を変更しても登録/確認ランプが消灯している場合は…

窓センサー送信器がAiSEG3に登録されていない可能性があります。電池を入れ直すと登録されているかどうか登録/確認ランプの点滅で確認できます。(参照: 1. 電池を入れる)

- 電池(1コ)を挿入すると約3秒間点灯: 登録済み
- 電池(1コ)を挿入すると約3秒間点滅: 未登録→登録操作を行ってください。(参照: 2. AiSEG3に登録する)

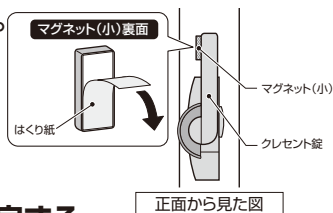
窓センサー送信器(施解錠検知機能付)

4. 取り付ける

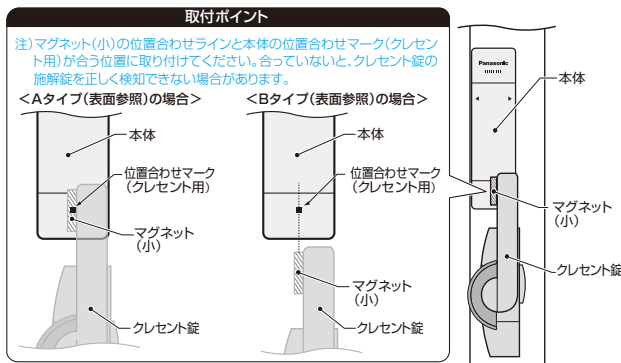
- 注) ●貼付位置の汚れを落とし、ぬれている場合は乾かしてから凹凸のない平面に貼り付けてください。また冬期は粘着面を温めてから貼り付けてください。汚れやぬれていた、粘着面の温度が低すぎると、粘着力が弱くなり、はがれるおそれがあります。
- 粘着力が強いので一度貼り付けると取り外すことが困難なので、あらかじめ窓の開閉時に本体やマグネット(大)が当たらないことを確認してから、貼り付けてください。
 - 貼り付け後、外れないように強く押し付けて、取付状態を確認してください。
 - 取り外しの際に大きな力加わり、本体が破損するおそれがあります。一度取り外した本体は再利用しないでください。
 - 動作が不安定になりますので、ドア・窓センサー送信器に付属のマグネットは使用しないでください。

1 取り付けサッシ、クレセント錠およびガラス面の汚れや水滴をふく。

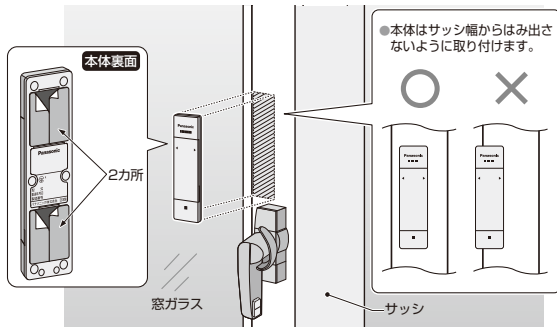
2 マグネット(小)をクレセント錠に貼る。



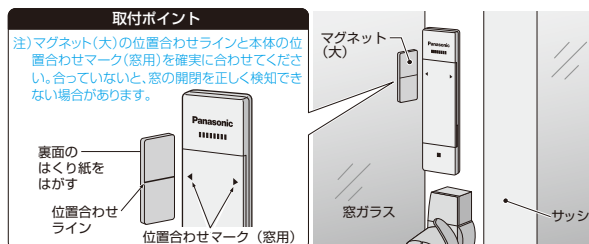
3 本体の取付位置を決定する。



4 裏面のはくり紙をはがして貼り付ける。



5 位置合わせマーク(窓用)に合わせてマグネット(大)を窓のガラス面に貼る。



6 取付後の動作確認をする。

- ① クレセント錠や窓を開閉して、サッシと本体、または本体とマグネットが接触しないか確認する。
- ② 「3.動作を確認する」の項目にしたがって、正常に動作することを確認する。

注) 電池カバーが確実に閉じていることを確認してください。不十分な場合は中に水が入り故障の原因となります。

窓センサー送信器の登録を削除するには…

1 電池カバーを取り外す。

- 参照:P.1 1.電池を入れる

2 先の細い物で登録/確認ボタンを押す。

- ➡ 連続受信モードへ移行します。AiSEG3の電波受信後に登録/確認ランプが点灯した後、マグネットの検知状態を表示します。(参照:P.1 3.動作を確認する)

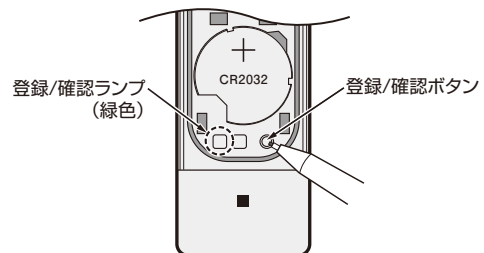
注) 連続受信モードは約3分間です。3分以上経過すると、自動的に連続受信モードを終了します。

3 3分以内に、AiSEG3の画面で窓センサー送信器の削除操作を行う。

- 参照:AiSEG3に付属の設定マニュアル

- ➡ 窓センサー送信器の登録/確認ランプでマグネットの検知状態を表示→遅い点滅(3回)→消灯します。

注) 連続受信モードにしないでAiSEG3の画面で窓センサー送信器の登録を削除しても、AiSEG3側の登録は削除されますが、窓センサー送信器自体の登録は削除されません。この場合、連続受信モードにしてから登録/確認ボタンを長押し(約7秒間)すると、登録/確認ランプが遅い点滅をして、登録が削除されます。



AiSEG3の画面で電池切れが表示されたら…

- 窓センサー送信器の電池容量を確認してください。

1 AiSEG3の画面に電池切れが表示される。

電池切れの窓センサー送信器を表示



2 電池カバーを取り外す。

- 参照:P.1 1.電池を入れる

3 先の細い物で登録/確認ボタンを押す。

- ➡ 連続受信モードへ移行します。AiSEG3の電波受信後に登録/確認ランプが点灯した後、マグネットの検知状態を表示します。(参照:P.1 3.動作を確認する)

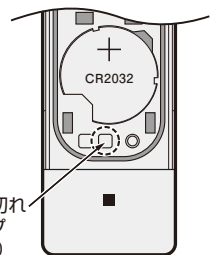
注) ●連続受信モードは約3分間です。3分以上経過すると、自動的に連続受信モードを終了します。

- 電池が切れていると、連続受信モードには移行しません。手順4を表示します。

4 電池切れランプを確認する。

- 約3秒間点灯: 電池消耗
- 約3秒間点滅: 電池切れ(開閉情報を送信できません。)
- ➡ 電池消耗、電池切れの場合は、電池を交換してください。(参照:P.1 1.電池を入れる)
- 消灯: 電池は正常

電池切れランプ(赤色)



5 先の細い物で登録/確認ボタンを押す。

- ➡ 登録/確認ランプが消灯し、連続受信モードを終了します。